やさかだより5 No. 78

2020年（令和２年）５月１日

大平地蔵堂の枝垂れ桜

５月号の記事

地域づくり協議会新旧会長挨拶 ……2
地域づくり協議会から ……3
地域づくり協議会新役員 ……5
八坂小学校から ……6
八坂中学校・保育園から ……7
山留の風・コミュニティ・スクールから ……8
八坂公民館だより ……9
人事異動について ……10

大平地蔵堂の見事な枝垂れ桜です。
八坂村誌・自然編/自然編資料の617Pに「大平の地蔵堂の枝垂れ桜」地蔵堂の南東、参道脇にある。地上2.6mで２岐、１幹は更に7mで２幹に分岐。目通り周囲3m、樹高20m。と紹介されています。先日の春の重い雪にも負けず、今年も立派に咲いています。
（４月21日撮影）

八坂地区の人口：790人
（男389人・女401人　高齢化率36.5%）
八坂地区の世帯：347世帯
（令和２年４月１日現在）

会長退任にあたり

前地域づくり協議会長　竹村　信吉

この冬の記録的な暖冬もさることながら、新型コロナウィルスの猛威による非常事態宣言が出され、外出もままならない大変な事態ですが、それでも冬から春への移ろいを五感で感じる良い季節となりました。

この度、１期２年務めさせていただいた地域づくり協議会の会長を退任いたしました。力不足ながら、私が２年間勤めあげられたのも、皆様のご協力やご尽力のお陰と、心から感謝申し上げます。

地域づくり協議会の委員としては、旧八坂村消防団長の経験からか健康福祉環境部長、日赤奉仕団の八坂支部長と様々な面から携わらせていただき、その後、地域づくり協議会の副会長を２期４年務め、その培った経験からの会長職の２年間はとても充実した期間でありました。

北アルプス国際芸術祭の「バンブーウェーブ」は、設営の段階から副会長として携わっており愛着ある作品でしたが、前任から引き継いだ時期は、そのお別れ会と撤去という慌ただしくも多少の寂寞の念を感じながらの事業でした。

今年の北アルプス国際芸術祭は残念ながら延期となってしまいましたが、芸術作品が今後とも八坂地区を大いに盛り上げていっていただければと期待しているところであります。八坂ビューポイント整備は、地域振興検討会議から提案を受けた事業であり、大滝・唐花見・山姥の滝・ポケットパークの整備や学校への支援事業として、小学校の遠足コースも整備を行い、子供たちが安全に楽しく歩ける道となり、何回か活動を行うことにより移住者との交流の場としても実施出来たと思っております。今後ともこの活動を通じ『地域の拠点の整備』や『地域間の交流の場』になればと思っております。

懸案事項でありました「明野太陽光発電事業」については、３年前より話しがあり、地域住民の皆様の不安の解消の一つとして、開発業者と県・市・協議会との４者による安全に配慮した協定書を締結する事が出来ました。今後、更に規模の大きな計画が、業者により計画されていますが、地域住民の安心安全が、第一である事から、前回の業者の様に協定書等の検討もお願いするものであります。

結びに、12年にわたり、八坂地域づくり協議会の委員や副会長・会長として活動をしてきましたが、皆様方のご協力をいただき感謝と御礼を申し上げますとともに、新会長のもと、地域づくり協議会の発展と皆様の益々のご活躍に、ご期待ご祈念申し上げまして、退任のご挨拶といたします。

着任にあたって

地域づくり協議会長　北澤　伸夫

八坂の山里も桜が開花し、躍動の季節を迎えました。今、世界的に新型コロナウィルス感染症が猛威を振るい、当地域でも感染症拡大防止対策で日常生活も制約を余儀なくされています。

私事ですが、この度、八坂地域づくり協議会におきまして、２年間にわたり、ご苦労いただいた竹村会長の後任として推薦をされ、会長に就任することになりました。あらためて責任の大きさを痛感しております。

合併以来15年を経過し、八坂地域も人口減少、少子高齢化が進み、それに伴う影響が随所に現れてきました。この間、協議会は、定住促進対策として空き家、定住促進住宅建設等を活かした人口増加を図ってきました。

その結果、八坂地域への移住者が増加し、保育園、学校でも子供たちの元気な姿が見られています。

また移住者の皆様も積極的に地域活動に参加されている姿も見られ、心強く感じております。

本年度も栃沢地区に２棟の定住促進住宅建設を予定しており、人口増加、自治会振興に期待をしているところでございます。

教育関係では「大町市の児童・生徒の減少に伴う義務教育のあり方検討委員会」にて検討が進み、八坂小・中学校は当面は現状維持とし、山村留学、小規模校の特色等を活かした学校づくりを進めるよう示されました。地域にとって学校は地域の核であり、今進めているコミュニティスクールをさらに充実させ、特色ある地域づくりに結びつけたいと考えます。

協議会は八坂地域のさらなる振興を目指し、人口増加対策の継続、自治会運営の見直し、八坂の魅力アップ、公民館事業への支援、北アルプス国際芸術祭への協力等、協働による地域づくりを進め、住みよい地域づくりに取り組みます。

微力ではありますが、役員の皆さんと協力し、地域発展のため頑張ってまいりたいと存じます。

地域の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

平成 31 年度（令和元年度）に実施した地域づくり協議会の主な事業

【地域づくり協議会】

１）八坂ビューポイント整備

7/7　山姥の滝周辺　　7/14 唐花見湿原周辺遊歩道及び木道の支障木伐採

２）やさかボランティア隊活動

6/16　相川・大曲ポケットパーク花植えに協力

11/10　小学校遠足コース整備

３）陳情・要望活動

8/19　国道１９号整備促進要望　〈長野国道事務所新町出張所長〉

8/19　過疎対策等に関する陳情　(過疎対策、道路整備他)〈市長〉

8/22　道路整備等についての要望〈大町建設事務所〉〈犀川砂防事務所〉

10/31　有害鳥獣対策についての勉強会

1/16　市長との懇談会

2/5　市議会との意見交換会大町市おでかけ議会　市議会主催　　17 名参加

４）八坂夏まつりの開催への協力(実行委員会による開催)　8/14 開催　アキツ周辺　約 400 人参加

５）公民館連携事業

(1)八坂塾の開催　６回 そば打ち教室

(2)公民館活動への支援（ふれあい運動会・文化祭への協力 他）

〇自治振興会長会議　自治振興会が推薦する役員の見直し・定住促進住宅建設候補地の検討
自治組織の在り方 各地区の要望のとりまとめ

〇総　務　部　会　交通安全運動の実施・広報誌「やさかだより」の発行 他

〇健康福祉環境部会　道路愛護会の実施、老人スポーツ大会・敬老会への協力、消防出初式参加
高砂大学や高齢者サロンによる高齢者対象の交通安全教室開催年２回企業訪問　年４回

〇地 域 振 興 部 会　11/16　移住者との交流会　　32 名参加・八坂地区花いっぱい事業

平 成 31 年 度（令和元年度）　決 算 報 告

【収 入】　(単位：円)

項　目		決算額	内　訳
１会費	１会費	287,000	大平 98 戸・石原 28 戸・切久保 39 戸 中央 24 戸・野平 60 戸・舟場 38 戸 計 287 戸
２補助金	１交付金	80,364	日赤社資交付金
	１地域づくり事業補助金	1,200,000	市補助金
	２環境整備事業補助金	800,000	道路愛護事業補助金
	３その他補助金	136,764	交通安全、防犯事業、市連合自治会
３繰越金	１繰越金	482,622	前年度繰越金
４雑収入	１雑収入	5,010	貯金利子他
合　計		2,991,760	

【支 出】

項　目		決算額	内　訳
１総務費	１会議費等	294,405	会議等参加旅費、 会議費他諸経費他
２協議会事業	１地域づくり事業	387,941	八坂塾講師謝礼 ビューポイント整備謝礼他
３総務部会事業		280,214	
	１交通安全対策事業	98,510	交通安全関係啓発用品他
	２防犯対策事業	37,080	防犯信州購読料他
	３広報紙発行事業	144,624	やさかだより費等
４健康福祉環境部会事業		961,986	
	１社会福祉事業	70,000	敬老会・老人スポーツ大会補助金
	２環境整備事業	800,000	道路愛護事業補助金
	３奉仕団活動事業	91,986	日赤奉仕団ボランティア保険料 奉仕団活動助成 他
５地域振興部会事業		353,178	
	１定住促進事業	9,252	移住者との交流会
	２地域振興事業	229068	花いっぱい事業経費
	３地域紹介事業	114,858	ホームページ管理料他
６予備費	１予備費	0	
合　計		2,277,724	

収入 2,991,760 円 － 支出 2,277,724 円 ＝ 残額 714,036 円（次年度へ繰越）

令和２年度年度事業計画

【事業計画】

１　協議会
- ○ 定期総会
- ○ 地域づくり協議会
  - ・八坂ビューポイント整備
  - ・明野地区太陽光発電事業に関する対応
  - ・北アルプス国際芸術祭への協力
  - ・八坂地区内の課題等への対応
  - ・八坂地域振興策事業の検討
  - ・定住人口増加対策の推進
  - ・地域間交流イベントの開催協力(八坂夏まつり)
  - ・陳情活動　市長、県、国道事務所等への陳情
  - ・生ごみ堆肥化処理施設に関する監視等の対応

〈公民館連携事業の推進〉
公民館事業は９P参照

２　自治振興会長会議　(定例会の開催)
- ・市連合自治会事業等との連絡調整
- ・自治組織の在り方の検討
- ・愛護会事業の見直し
- ・地区要望事項の取りまとめ
- ・空き家の実態調査の継続
- ・定住促進住宅建設、次候補地等の検討

３　総務部
- ・交通安全運動及び啓発活動　　４回/年
- ・交通安全啓発用品の整備
- ・防犯パトロール等の実施
- ・広報紙「やさかだより」の発行　６回/年 他

４　健康福祉環境部
- ・老人スポーツ大会・地区敬老会への協力
- ・道路愛護活動環境美化事業　（４回/年）
- ・日赤奉仕団八坂分団活動の支援及び講習会の実施
- ・支え合いマップの更新調査及び作成

５　地域振興部会
- ・八坂ビューポイントの整備
- ・やさかボランティア隊組織の立上げ
- ・移住者との交流会　企画、実施
- ・八坂地区花いっぱい事業
- ・ホームページの管理他

令和２年 度　予 算

【収 入】　　(単位：円)

項　　目		決算額	内　　訳
１会費	１会費	280,000	大平 98 戸・石原 28 戸・切久保 37 戸 中央 22 戸・野平 59 戸・舟場 36 戸 計 280 戸
２補助金 交付金	１交付金	81,000	日赤社資交付金
	１地域づくり事業補助金	1,200,000	市補助金
	２環境整備事業補助金	800,000	道路愛護事業補助金
	３その他補助金	135,000	交通安全対策事業、防犯事業、市連合自治会
３繰越金	１繰越金	714,036	前年度繰越金
４繰入金	１基金繰入金	0	基金繰入金
５雑収入	１雑収入	964	貯金利子　他
合　　計		3,211,000	

【支 出】

項　　目		決算額	内　　訳
１総務費	１会議費等	470,000	会議等参加旅費 会議資料用紙代他
２協議会事業	１地域づくり事業	690,000	八坂塾講師謝礼北アルプス国際芸術祭への協力他
３総務部会事業		395,000	
	１交通安全対策事業	190,000	交通安全関係会議旅費、交通安全啓発消耗品他
	２防犯対策事業	60,000	防犯信州購読料・会議等旅費他
	３広報紙発行事業	145,000	「やさかだより」用紙代,コピー代 他
４健康福祉環境部会事業		1,060,000	
	１社会福祉事業	90,000	敬老会・老人スポーツ大会補助金他
	２環境整備事業	800,000	道路愛護活動補助金
	３奉仕団活動事業	170,000	日赤奉仕団ボランティア保険料 奉仕団活動助成金他
５地域振興部会事業		490,000	
	１定住促進事業	80,000	移住者との交流会
	２地域振興事業	280,000	地域振興事業消耗品 花いっぱい事業経費
	３地域紹介事業	130,000	ホームページ管理料他
６予備費	１予備費	106,000	
合　　計		3,211,000	

八坂地域づくり委員会・八坂地域づくり協議会・自治振興会長会議の新委員

八坂地域づくり協議会（１６名）	
会　長	北澤　伸夫
副会長	内山　喜久夫
	伊藤　悦男
委　員	竹本　明信
	北澤　久男
	宮下　享治
	坂井　三男
	丸山　達朗
	松井　一美
	小柳　薫
	北澤　尚泰
	山﨑　恵子
	北澤　豊繁
	降簱　興平
	鳥屋　秀子
公民館責任者代表	中島　喜一

今年度は、自治振興会や協議会の役員の切り替えの年となり、八坂地域づくり協議会委員、各自治振興会の役員が交代しました。それぞれの組織において組織構成が行われましたのでお知らせします。

また、地域づくり委員会の委員も、新たに市長から委嘱されました。各委員の任期は、令和２年４月から令和４年３月までの２年間となります。

なお、前委員の皆さんには、大変お世話になりありがとうございました。ご苦労様でした。

自治振興会長会議　（６名）	
議　長 舟場自治振興会長	伊藤　悦男
副 議 長 大平自治振興会長	竹本　明信
石原自治振興会長	北澤　久男
切久保自治振興会長	宮下　享治
野平自治振興会長	坂井　三男
中央自治振興会長	丸山　達朗

大町市八坂地域づくり委員会　（大町市長からの委嘱　１３名）			
会　長	北澤　伸夫	委　員	坂井　三男
副会長	北澤　豊繁		北澤　尚泰
委　員	伊藤　悦男		小柳　薫
	竹本　明信		山﨑　恵子
	北澤　久男		鳥屋　秀子
	宮下　享治		内山　喜久夫
	丸山　達朗		

令和２年４月14日、八坂地域づくり委員会と八坂地域づくり協議会総会開催

４月14日に第１回八坂地域づくり委員会が開催され、今年は２年に一度の役員改選の年となることから、初めに矢花副市長より委嘱書が委員全員に手渡され、その後互選により正副会長を選出しました。この組織は、地方自治法に基づく市の付属機関であり、市長からの諮問事項を調査審議の上、市長に答申する役割があります。

市の総合計画や地域振興計画策定、変更及び執行に関する事項が主な内容です。委員会終了後、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、参集者を縮小した中で、令和２年八坂地域づくり協議会総会が開催されました。そこでは平成31年度事業報告、決算、令和２年度の事業計画と予算書が承認され、会長、副会長が選出されました。

八坂小学校

卒業証書授与

３月１８日に、令和元年度の卒業式が行われました。３月は臨時休校になってしまったため、リハーサルや打ち合わせがほとんどできませんでしたが、１３人の卒業生が堂々と卒業証書を校長先生から受け取りました。来賓の方々からお祝いの言葉や励ましの言葉をいただき、卒業生からは別れの言葉や歌で感謝の思いを伝えました。

最高学年として八坂小学校をリードしてくれた６年生のみなさん、ありがとうございました。ご卒業、おめでとうございます。

入学式記念写真

４月６日の始業式・入学式は、新型コロナウィルス感染防止対策のため、始業式は、各教室への校内放送で行い、入学式も新入生と保護者、２名の来賓、教職員で行いました。本年度の１０名の山村留学生のみなさんは、待機措置のため始業式に参加できませんでした。

入学式では４人の新１年生を迎えました。新１年生は入学式で校長先生から名前を呼ばれ、ちゃんと返事をすることができました。

本年度は新１年生４人を加えて、全校３７人での出発となります。地域のみなさま、引き続き、学校へのご支援をよろしくお願いします。

八坂小・中学校の職員兼務による授業実施

昨年１２月に、八坂コミュニティ・スクール学校運営協議会で次のことが承認されました。

① 八坂地区の特色を生かし、八坂地区を「学び合いの里　八坂」と位置づけること

② 八坂小・中学校の連携を強化し、将来的には「施設分離型小中一貫校」の設立を目指すこと

③ 小中一貫９年間を通した子どもの育成のために、小中教職員の人材を生かす。具体策として、小中相互の授業支援を発展させた「教科一部担任制」の試行を目指す。このことにより、専門性に拠る「教科の見方・考え方」を深めた授業の成立を目指す。また、小・中教員が相互に児童・生徒を理解することで、キャリア発達等による小中一貫教育の成立を目指す。

以上の方針を学校運営協議会で承認していただき、県教委へ計画書を提出した結果、本年度より、より専門的な立場で子どもたちの指導を行うことを目的とした、八坂小・中学校の一部職員が両校を兼務して授業を行うことが可能になりました。具体的には、八坂中の理科担当の矢口紘史先生が火・木曜日に、音楽担当の会津沙紀先生が水・金曜日に八坂小で、それぞれ理科と音楽の授業を行います。その反対に、八坂小で美術の免許を所持する太谷弥生先生が八坂中で火曜日に美術の授業を行います。

これらの取り組みを通して、授業の充実が図れるとともに、それぞれの学校の職員が互いの学校の子どもたちの様子を知ることができ、小中一貫教育の成立が期待できます。この他に、八坂小には週一日、英語専科の白澤朗生先生（本務校は松川小）が来校して授業を行っています。

このように八坂小・中学校の子どもたち全員の教育の充実のために、学校間で連携を深めて取り組んでいます。

八坂中学校

新型コロナウイルス感染症対策で３月が臨時休校となっていましたが、６日から学校が再開し久々に明るい生徒の声が戻ってきました。７つの都府県で非常事態宣言が発令され当面の間、厳戒態勢が続きます。本校の教育活動も次のように中止や延期があり得ますが、何卒ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

4/21　新任職員小中合同地域巡り（中止）
4/22　学校ボランティア紹介式（中止）
5/11～14　家庭訪問（中止）
　　※家の位置を確認する巡回に変更）
5/23　土曜参観、ＰＴＡ総会（実施予定）
5/26　ガードレール磨き（秋に延期）
6/11～12　職場体験学習（秋に延期）

入園、入学おめでとうございます

たけのこ保育園

４月３日（金）　たけのこ保育園で入園式が行われました。
新入園児２名を迎え、年長７名・年中２名・年少５名・未満児１名
全園児 １５名でスタートしました。今年も昨年に引き続き、たくさん自然に触れ、八坂の地区を散策しながらお散歩をし、元気いっぱい遊びたいと思います。皆様の地域にもお邪魔するかと思いますが、何処かで姿を見かけたら、声をかけていただけたら嬉しいです。子ども達も元気に挨拶し、お話しができるようにします。今年度も宜しくお願い致します！

今年度、八坂での山村留学は４５期目を迎えました。
４月５日には、八坂１８名、美麻１４名の山村留学生を迎え、入園のつどいを行いました。山留生は、「来春、またこの花が咲く時まで共に歩いていこう」という意味を込め、ダンコウバイの花を持ち、わらぐつに挿して入場しました。今年度はコロナウイルスに留意し、学園生とご来賓２名のみ、マスクをしながら縮小した形での入園のつどいとなりましたが、一人ひとりの学園生が、前向きな表情で頑張りたいことやってみたいことを発表しました。

「学園生の心がまえ」を紹介します。

1．山村留学中は、いつも自分の足で歩くよう努力し、自然の中でたくさん活動し、「ここでしかできないこと」をたくさんします。
2．あいさつや、言葉づかいに気をつけ、「自分のことは自分でやる」けじめのある生活をします。
3．山村留学生活に必要なもの以外、必要以上に多く物を持たず、物を大切にし、無駄なお金を使わない「がまん」する生活をします。
4．食事は好き嫌いなく残さず食べ、感謝の気持ちを忘れないようにします。
5．自分のことだけでなく、相手の気持ちを考えながら過ごすように努力します。特に、周りで困っていたり、悩んでいる人のことを、みんなで考え、助け合って生活します。
6．自分の目標をもって生活し、収穫祭や修園のときには、成長や成果を、自分の言葉と大きな声で堂々と発表します。

以上のことを心がけ、みんなで協力して過ごしていきたいと思います。
八坂地区の皆様、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクールだより

おらほの学校やさか

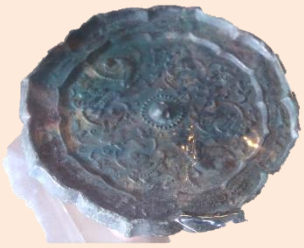
令和２年度　第１回八坂コミュニティー・スクール「学校支援代表者会議」

４月１５日（水）八坂公民館（アキツ）にて、今年度第１回目の八坂コミュニティ・スクール「学校支援代表者会議」が開催されました。『子どもたちを地域が育てる』ことを主目的とし、年６回程開催を予定しています。
今年度新たな出席者は、小・中合同ＰＴＡ会長　北澤直樹さん、副会長　冨山剛仁さん、学校運営協議会事務局（小学校）宮坂建樹教頭先生、中学校担当教諭山下貴丈先生となります。
学校支援コーディネーター進行のもと、①会議メンバーの確認（今年度１５名）、②学校からの支援要望等、③ボランテイアの割り振り、④情報交換について協議されました。
学校支援ボランティア総務広報部から、『八坂学校支援ボランティアカレンダー』の紹介がありましたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴い、予定の延期、中止の予測が立たず、各行事等４月上旬段階での作成のため予定の延期、中止に関しては、各関係機関への問い合わせをお願いしますと説明がありました。
今年度も子どもたちの笑顔がたくさん見られるように学校支援ボランティアー同、協力させていただきます。

◎学校支援ボランティアに興味のある方は、
八坂公民館（アキツ）学校支援コーディネーターまで是非ご連絡下さい
（連絡先　八坂公民館　0261-26-2380）

令和２年度 八坂公民館の主な行事予定

◆八坂塾（地域文化伝承講座）　６月～１２月
・郷土の自然、歴史、文化を学習する講座を行います。
◆高砂大学（高齢者学級）　６月～３月（全１０回）
・高齢者を対象にした生涯学習の講座です。
◆すこやか広場（子育て学級）　６月～３月（全９回）
・乳幼児、未就園児と保護者を対象にした子育て学習と交流の場です。
◆健康づくり教室（八坂支所民生係と共催）　８月～９月
・自身の体力チェックを行い、適切な運動方法を学ぶ教室です。
◆お盆球技大会　８月１４日（金）
・毎年恒例の学友会主催の大会です。
◆八坂地区市民登山　９月１２日（土）～１３日（日）
・育てる会と合同で北アルプスに登ります。（場所は未定）
◆第８回ふれあい運動会　９月１９日（土）予備日は無し
・地域、小学校、保育園合同で開催します。
◆小学生とお年寄りとの交流会（ふるさと伝承事業）　１０月１７日（土）
・小学生がお年寄りから八坂の伝統的な郷土文化を学ぶ交流会です。
◆八坂地区文化祭　１０月２４日（土）～２５日（日）（メインは 25 日）
・地域の皆さんが一同に会して行う文化の祭典です。



◆かるた・もちつき大会　１月１６日（土）
・八坂郷土かるた等を活用して行います。
◆レクレーションスポーツ大会　３月７日（日）
・冬季の運動不足の解消を図ります。

※新型コロナウィルスの感染拡大により行事を延期または中止することがあります。

新型コロナウィルス感染症に係る地域での活動・行事等の参考基準のお知らせ

新型コロナウィルス感染症による国内感染例が急激に増加していることから、４月 16 日、国は全都道府県を対象区域とする「緊急事態宣言」を発令しました。このことから一人ひとりの感染防止に対する意識を高め、一刻も早い事態の収束につながるよう、市民の皆様におかれましても、当分の間、不要不急の外出を避けていただくと共に、地域での活動や行事等の開催を行う場合にあっては、下記による取組を要請します。

１　開催に対する基本的な考え方

（１）多数の参加者が集まる活動・行事等は感染リスクが高いものとして、延期または中止を検討してください。
（２）参加者に関係なく「３つの密」（①換気の悪い密閉空間②人が密集している場所③密接しての会話や発生が行われる場面という３つの条件が重なること）を作らないよう、徹底的に回避する対策と、万全の感染防止策を講じたうえで、実施をお願いします。なお、感染防止対策が十分にできない場合は、延期または中止を検討してください。

２　開催する場合の感染防止対策等

（１）参加者に対する可能な限りのマスクの着用、咳エチケットや手洗い・手指消毒の実施など基本的な感染防止策の周知・徹底をしてください。
（２）風邪症状等、体調不良の方には参加を見合わせるよう要請してください。

人事異動

■八坂支所

《転出》

高橋沙良　八坂支所民生係兼民生部市民課中央保健センター兼八坂保健センター兼国保・年金係兼福祉課地域包括支援センターから

高橋知江　民生部市民課中央保健センターへ

勝野和子　八坂支所総務係兼民生係から総務部税務課管理収納係へ

《転入》

①下川久美子　八坂支所臨時職員からあすなろ保育園へ

②佐藤日和　建設水道部建設課管理係から八坂支所総務係兼民生係へ

①

②

■たけのこ保育園

《転出》

北村　幸　みあさ保育園　園長

柏原　杏里　どんぐり保育園

《転入》

①宮田　朋華　はなのき保育園より

②山岸　夏実　くるみ保育園より

写真１

写真２

写真１

写真２

写真３

写真４

写真５

写真６

写真１

写真２

写真３

■八坂小学校

《転出》

教頭　矢口高士　定年再任用で美麻小中学校へ

養護教諭　吉澤由子　大町南小学校へ

教諭　和田直也　中信教育事務所生涯学習課へ

講師　中田達弥　松本市立開智小学校へ新規採用

《転入》

①教頭　宮坂　建樹　白馬村立白馬南小学校より

②４年担任　三枝　祐紀　白馬村立白馬北小学校より

③２年担当　熊谷　航　佐久市立東小学校より

④養護教諭　栗原　孝奈　坂城町立南条小学校より

⑤英語専科　白澤　朗生　英語専科

⑥養護教諭初任研指導　瀧澤　早苗

■八坂中学校

《転出》

校長　平林伸一　定年再任用で小谷村立小谷中学校へ

養護教諭　廣田百合香　千曲市立八幡小学校へ

事務主事　高橋智美　南牧村立南牧北小学校へ

《転入》

①校長　片山ますみ　長野市立西部中学校より

②養護教諭　小柳由紀子　大町市立第一中学校より

③事務主事　横沢美里　大町市立大町東小学校より